

第14回江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 ニュースレター

令和8年6月3日（水） 13:30～14:15
三次河川国道事務所2階会議室（Web会議併用）

- 江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会は、**平成28年度の発足から令和7年度で10年の節目**を迎え、**第3期取組方針の策定に向けた検討**を実施しました。
- 本協議会では、各委員から令和7年度の実行状況の報告を受け、**第2期の取組を総括**するとともに、**第3期の減災に係る取組方針について承認**を得ました。

－次第－

- 第2期取組状況の総括
- 第3期減災に係る取組方針の策定【審議】
- 令和8年度以降の取組予定
- 整備局からの情報提供

■ 会議の様子

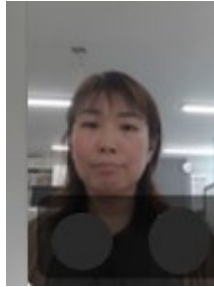


■ 参加機関

出席：6機関

三次市	
安芸高田市	
広島県	
気象庁 広島地方気象台	
国土交通省 中国地方整備局	三次河川国道事務所 土師ダム管理所

■ 各機関における令和7年度の実行状況及び令和8年度の実行予定

					
	三次市 福岡市長	安芸高田市 藤本市長	広島県土木建築局 久保主査	広島地方気象台 栗原台長	三次河川国道事務所 兼重所長
令和7年度 の実行状況	「災害は起きるもの」との意識を持ち、 流域治水対策や要配慮者支援、防災教育、訓練による関係機関との連携強化 等に取り組んでいる。	自主防災組織の活動支援や要配慮者支援、災害時の協定団体との共同訓練、市役所内部の訓練・研修等 に取り組んでいる。	防災教育や水防工法講習会の実施、X（イクス）を活用した情報発信及びまごまごハザードマップの整備 に取り組んでいる。	新たな防災気象情報と線状降水帯の直前予測 を5/29より開始し、 普及啓発や情報提供の強化 に取り組んでいる。	内外水統合型水害リスクマップ の整備や 河川監視体制の強化、ダム流入量予測へのAIの導入、防災教育の推進 などに取り組んでいる。
令和8年度 の実行予定	関係機関との連携を一層強化 するとともに、 民間企業との協働や避難所運営訓練の実施、要配慮者支援の推進 により防災体制の強化を図る。	地域と連携した避難場所の確保や避難の呼びかけ体制作り、福祉専門職と連携した個別避難計画の拡充、各種訓練に引き続き 取り組む。	令和7年度の実行状況を 継続して実施 するとともに、 さらなる取組向上 を図る。	線状降水帯の予測 については、令和11年に向けて 精度向上と対象地域の細分化 を進めるとともに、 防災気象情報の普及啓発 に取り組む。	内水タイムラインの検討 や内外水統合型水害 リスクマップの拡充、監視・予測機能の高度化及びVR・AR等のデジタル技術を活用した防災教育の推進 を図る。